

第6学年C組 外国語科学習指導案

授業者 藤田 峻 (HRT), 藤田 練 (ALT)
研究協力者 佐々木 雅子
教材分析協力者 若有 保彦

1 単元名 My best summer vacation ～小学校生活1番の夏の思い出は？～

2 子どもと単元

(1) 子どもについて

これまでの学習を通して、新しい ALT に名前や好きなこと、誕生日などを交えたメッセージ動画の作成をしたり、行ってみたい国やそこでできることなどについて、カードを用いながら発表をしたりしてきている。相手に問いかけをしながらスピーチの伝え方を工夫したり、理由や詳しい内容を付け加えながら発表をしたりする姿が見られた。

また、ペアでの Small Talk やコミュニケーション活動において、クラスの仲間や ALT とのやり取りを楽しみながら、自分の考えや気持ちを伝え合う経験を徐々に積んできている。

その一方で、その場で考えて話す場面では、目的や場面、状況などに応じて既習の表現を活用したり、質問したりすることに不十分さがあり、やり取りが充実しているとは言い難い。

(2) 単元について

本単元では、よりよいコミュニケーションの仕方を意識し、自分や他者の過去の出来事について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、その場で質問をしたり質問に答えたりして伝え合う資質・能力を高めることを目指す。

そのため本単元のゴールに、「6Cの Our best summer vacation 30選」について、学級の30人による1本の番組風リポート動画を撮影し、ALT や他のクラスの人に伝える活動を設定した。伝え合う内容は、夏休みに経験したことには個人差があることを考慮し、今年に限らず小学校生活6年間で「My best summer vacation」として子どもたちが話したいことについて思いを巡らせることができるようにした。

また、小学校生活6年間で1番の夏休みの思い出は児童にとって関心が高いと考え、この単元で初出となる過去形の表現や、既習表現を無理なく自然に活用できると考える。

(3) 指導について

単元の導入では、子どもたちが学習の見通しをもち、主体的に学習に取り組むことができるように、HRT の質問に学年部や専科の先生が夏休みについて答える様子を録画し、「Watch and Think」としてリポート動画を提示する。普段の学校生活で関わりのある先生方が英語で話している場面を提示することで、その内容に興味をもって聞くとともに、自分たちが単元のゴールで目指す姿の見通しをもつことにつなげる。また、扱う言語材料は、夏休みの生活表や事前アンケートから予め調査した上でピックアップし、子どもたちが使えそうなものを準備しておくことで、必要に応じて言語材料を選び取ることができるようにしておく。

本時までの単位時間毎の学習活動では、「伝え合う内容や活用する既習表現」、「伝え方の工夫」など、聞き手のニーズに応じて詳しく伝えるための視点(学びのものさし)を働かせながら、単元のゴールに向かって児童が資質・能力を高めていくことができるように、夏の思い出について自分のことを話す活動を中心に設定する。① Small Talk やサイコロトークを通して、即興的に自分の思い出を話しながら、目標言語材料の習得となる、過去の表現の仕方や尋ね方に慣れ親しむ活動。②自分が心に残っている夏の思い出を想起し、過去の表現を用いて話したり、その中でも自分が伝えたい思い出の内容を深く考え、話したりする活動。

本時では、小学校生活6年間で1番の夏休みの思い出について、これまで積み重ねてきた学びのものさしを基に、3～4人グループでやり取りする場を設ける。授業の導入では、本時のゴールで目指す学びの姿を自覚し、聞き手のニーズに応じて詳しく伝えるための視点(学びのものさし)を確かめることができるように、HRT と ALT による Small Talk を取り入れたモデル提示を行う。学習活動を進める中で、学びのものさしを働かせながら、その場で質問をしたり質問に答えたりしてやり取りを広げることができるように、「話す役」「聞く役」「見る役」の役割に沿ってやり取りの工夫した点やよさ、理由などをグループや全体で共有する場を設ける。

3 単元の目標〈記号は本校の資質・能力表による〉

- (1) I went ~. I enjoyed ~. I ate ~. It was ~. What did you ~? などの表現について理解し、夏休みの思い出について、自分の考えや気持ちなどを伝え合う技能を身に付けている。〈2〉
- (2) 目的や場面、状況などに応じて、既習の表現を選んだり付け加えたりしながら、その場で質問をしたり、質問に答えたりして自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる。〈14〉
- (3) 夏休みの思い出について、相手の理解を確かめながら話したり、話題を膨らませたりしながら、自分の考えや気持ちなどを表現しようとしている。〈イ, オ〉

4 単元の構想（総時数 7 時間）

Unit 7 Welcome to Japan. (5 年生) Unit 2 How is your school life? Unit 3 Let's go to Italy.
 ・ What/Why/Where do you ~?などの基本的な表現の活用 ・ 現在形を用いて自分のことを伝え合う

| 時間 | 学習活動 (・は予想される子どもの姿) | 教師の主な支援 | 評価 (本校の資質・能力との 関連) |
|-------------|--|--|---|
| 1 | (1) 先生方の夏休みの思い出についてレポートした動画を視聴し、過去の出来事について概要をつかむ。 単元のゴール 小学校生活 6 年間で 1 番の夏の思い出を ALT や他のクラスの人たちと伝え合おう! | ・ 学習への意欲を高め、単元のゴールをイメージすることができるように、夏休みの思い出についてのレポート動画を提示する。 | ・ 夏休みの過ごし方などについて、短い話の概要を捉えようとしている。 <イ, オ> |
| 2 | (2) 過去の表現の仕方を知る。 ・ 過去のことを伝えるために、 I went to ~. I enjoyed ~. I ate ~. It was ~. などのように表現すると伝わる。 | ・ 自分事として過去の表現を用いることができるように、夏休みの生活表や事前アンケートから必要な言語材料をピックアップし、写真を提示しながら Small Talk の話題に取り入れる。 | ・ I went/enjoyed/ate ~. It was ~. など過去の表現の仕方について、理解している。 <2> |
| 3 | (3) 過去のことを尋ねる表現の仕方を知る。 ・ 過去のことを聞くために、 What did you ~? Did you ~? などのように表現すると伝わる。 | ・ 質問の仕方や答え方に慣れ、実際のやり取りで使うことができるように、What/Where did you ~?など疑問文が書かれたサイコロを用意し、ペアやグループで繰り返し過去のことを尋ねる表現に慣れ親しむ場を保障する。 | ・ What/Where did you ~? や Did you ~? など過去のことを尋ねる表現の仕方について理解している。 <2> |
| 4 ・ 5 | (4) 自分が心に残っている夏の思い出を想起し、過去の表現を用いて伝え合う。 ・ What is your summer memory? I went to ~. How about you? (5) 自分が伝えたい夏の思い出を選んで、詳しく話す。 ・ ○ years ago. When I was ○ grade. I went to ~ with ~. I ate ~. I saw ~. I enjoyed ~. I did ~. It was ~. | ・ 過去の出来事を想起し、話す内容を整理することができるように、マッピングシートを用意したり、夏に関する英語の絵辞典やイラストなどを掲示したりし、参考にできるようにする。 ・ 表現の幅を広げ、実際のやり取りで使うことができるように、使った表現を共有したり、使ってみたい表現について全体で考えたりする場を設ける。 | ・ 夏の思い出について、自分の考えや気持ちなどを簡単な語句や基本的な表現を用いて伝えることができている。 <2> |
| 6 本 時 | (6) 小学校 6 年間で 1 番の夏の思い出を尋ね合う。 ・ 行った場所だけでなく、You can ~. の表現も付け加えて、内容を詳しく説明してみよう。 ・ When/Where/Who/What/Why 等を入れて質問することで、内容を詳しく引き出せそう。 | ・ 「伝え合う内容や活用する既習表現」、「伝え方の工夫」など、聞き手（視聴者）のニーズに応じて詳しく伝えるための視点（学びのものさし）を働かせることができるように、「ここをもっと知りたかった」ところを、見る役がアドバイスに取り入れるよう全体で確認する。 | ・ 小学校生活の中で 1 番の夏の思い出について、自分の考えや気持ちなどを簡単な語句や基本的な表現を用いて、その場で質問をしたり、質問に答えたりしながら伝え合っている。 <14> |
| 7 | (7) 他のクラスに夏休みの思い出を紹介するためのレポート動画を撮影し、単元を通しての学びを振り返る。 | ・ 自分の学習の成果が次の学習に生かされるように、単元を通して「どんなことができるようになったか」を振り返る場を設定するとともに、これまでのプロセスを称賛する。 | ・ 小学校生活の中で 1 番の夏の思い出について、自分の考えや気持ちなどを簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができている。 <2> |

◎本単元で育む主な資質・能力

よりよいコミュニケーションの仕方を意識し、自分や他者の過去の出来事について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、その場で質問をしたり質問に答えたりして伝え合う。(14, イ)

Unit 7 My Best Memory

- ・ 自分の小学校生活の思い出について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話す。

5 本時の実際 (6 / 7)

(1) ねらい 自分の1番の夏の思い出を発信するためには、どのように質問をしたり答えたりするとよいかに着目し、夏休みの思い出についてレポートする活動を通して、その場で質問をしたり質問に答えたりして、やり取りを広げることができる。 <14>

(2) 展開

○「学びのものさし」を働かせて省察したり、自律的に学習を進めたりするための支援

| 時間 | 学習活動 | 教師の支援 評価 |
|-----|---|--|
| 10分 | ① HRT と ALT の Small Talk を聞き、Today's Goal を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">Today's Goal 1番の夏の思い出について、質問をしたり答えたりしてやり取りを広げよう！</div> | ○本時のゴールで目指す学びの姿を自覚し、聞き手（視聴者）のニーズに応じて詳しく伝えるための視点（学びのものさし）を確かめることができるように、HRT と ALT による Small Talk のモデルを取り入れる。 |
| 12分 | ② 3人グループで「話す役」「聞く役」「見る役」に分かれ、役割を交代しながらやり取りを行う。 ・やり取りがうまく続かない…。 ・あっという間に終わってしまった…。 ・何を質問したらいいかな…。 ・英語で何と言えればいいかな…。 ・どんな話を付け加えたらいいかな…。 ・(いつ?/どこで?/誰と?/何を?/なぜ?) をもっと知りたかったな。 ・さっき言えなかったことは、こんな風に言えればいいんじゃないかな。 | ○「伝え合う内容や活用する既習表現」、「伝え方の工夫」など、聞き手（視聴者）のニーズに応じて詳しく伝えるための視点（学びのものさし）を働かせることができるように、見る役が「ここをもっと知りたかった」ところを、アドバイスに取り入れるよう全体で確認する。 ・仲間からのフィードバックを生かしてやり取りを広げることができるように、やり取り後にグループでよかった点や改善点を共有し、再度同じペアでやり取りの改善を図ることのできる場を保障する。 |
| 8分 | ③ 中間交流会を行い、抽出ペアのやり取りを見て、自分たちのやり取りに生かせることを考える。 ・行った場所だけでなく、You can ~. の表現も付け加えて、内容を詳しく説明してみよう。 ・When/Where/Who/What/Why 等を入れて質問することで、内容を詳しく引き出せそう。 ・みんなにも楽しんでもらいたいから、「ぜひ行ってみて」や「食べてみて」等を入れよう。 | ・仲間のよかった姿を自分の学びに生かすことができるように、既習表現を活用してレポートの内容を付け加えたり話題を広げたりするなど、表現豊かにやり取りをしているペアの様子を全体で取り上げ価値付ける。 ○伝えたいことを表現することができるように、②の活動の中で何と言ったらよいか、こんなときはどうしたらよいか等、困ったことを全体で共有し、できる限り児童の言葉から解決を図ることができるようにする。 |
| 10分 | ④ ③で気付いたことを基に、3人グループでやり取りの改善をする。 <例：Question> ・What is your best summer memory? ・What did you enjoy in summer? ・How was your summer vacation? ・What / Where / Why / When did you ~? ・Did you ~? ・How was it? ・How about you? Do you ~? <例：Answer> ・I went / enjoyed / ate / saw / did ~. ・It was ~. ・I want to ~ again. ・You can ~. ・Please go there / try it. ・○ years ago. ・When I was ○ grade. | ・やり取りのよかった点を可視化し、グループで共有することができるように、やり取りの中でよかったと思った場面で見える役がカード (○) を示せるように準備をする。 ・やり取りがスムーズに進むように、ALT と分担して、児童が困っているところや、上手くいっていないところで必要に応じてサポートする。 |
| 5分 | ⑤ 本時の活動を振り返る。 自分の考えや気持ちを分かってもらうために、相手が知りたいことに関連する内容を加えたり、問いかけたりすることでやり取りを工夫できた。 | ・本時の学びを整理し、今後の学習につながる新たな気付きを得られるように、やり取りをするときに工夫したこととその理由、Today's Goal の達成度を問う。 |

小学校生活の中で1番の夏の思い出について、自分の考えや気持ちなどを簡単な語句や基本的な表現を用いて、その場で質問をしたり、質問に答えたりしながら伝え合っている。
<14>(やり取りの様子)